

第2回定例会

可決した議案

区長提出議案

中野区特別区税条例の一部を改正する条例

議員提出議案

意見書(2件・次項に掲載) 決議(2件・前区長、前助役に對する感謝状贈呈に関する決議)

可決した意見書

抗がん剤の保険適用拡大を進める意見書

今や、日本人の死亡者の三人に一人、年間約30万人が癌により命を失っており、癌患者は全国で約60万人と推測されております。

欧米では、科学的根拠に基づいて、使用すべき抗がん剤を選定し、それらを標準治療薬として使用しています。しかし、日本ではそうした薬剤のうち100種類以上が、未承認または保険適用外となっており、抗がん剤の承認審査を迅速に進めるための手続きの合理化が求められています。

除適用外である医薬品を使用した場合、抗がん剤の費用のみならず、入院費、検査料などを含め、全てを自己負担することとなります。これはあまりにも重い経済的負担であり、長期にわたっては、家族の生活が、患者の治療への二者択一を迫るといって、過酷な事態を招くことにもなります。

わが国は食糧自給率が年々低下し、平成12年度の輸入率は60%(カロリーベース)に達するという食料輸入大国となつています。その中で注目されるのは近年生鮮野菜や冷凍野菜が急増していることです。昨年の国内野菜生産量は三百萬トンに対し、輸入野菜は百六十萬トンに達しており、その40%が中国産です。また、冷凍野菜も平成3年の四千トンから昨年は五萬八千トンに達しています。

一方、法律で添加物として認められていない香料などが数十年にわたりスナック菓子やたくさんの食品に添加されていることが、次々とあきらかにされてきています。しかも、製造してきた企業はこれらの添加物が認可を受けていないことを承知していたとされ、これら違法添加物を使用していた食品企業は数百社にもおよび、関連商品の回収規模は史上最大にのぼるとみられます。さらに問題なのは、厚生労働省が違法行為を取り締まるどころか、海外で使用されている日本では禁止されていない添加物について、認可申請をするよう業界団体に指導をしていたことです。これは、1972年食品衛生法改正にもない、「食品添加物の使用は極力制限すべき」との衆参両院での付帯決議にも反するものです。

意見の分かれた案件(第2回定例会)

Table with columns: 件名, 会派名(議員数), 自(12), 公(9), 共(9), 自(5), 民主(2), 無所属(6), 結果. Row 1: (13)第33号陳情 中野区勤労福祉会館施設内使用料見直し・情報公開について. Result: 不採択.

無所属議員については、会派と同様の扱いで掲載しています。 会派名の略称 { 自 民: 自由民主党議員団 公 明: 公明党議員団 共 産: 日本共産党議員団 } { 自 治: 市民自治フォーラム 民主 主 克: 民主クラブ }

健康を守り、ひいては国内農業の健全な育成のために、早急に強力な対策を実施すべきです。

- 1 国は食品衛生法を食品の安全性の確保に重点をおくよう改正すること。とりわけ合成香料の食品への使用基準を定めるなど、消費者が安全性を確認できるよう食品表示制度を見直すこと。
2 輸入食品の増加に対応できる検査・検査体制の整備を早急に進めること。特に、食品監視員の増員を早急にはかること。
3 国は検査・検査によって危険な食品や病害虫等が検出された場合には、直ちに都道府県や政令都市に通知し、危険食品や病害虫の伝搬を防止できる体制を構築すること。
4 安心、安全な食の実現のために日本の農業を守り、食糧自給率を高めること。 衆議院議長、参議院議長、厚生労働大臣あて

中野区議会は、歳暮の贈答など、虚礼等の廃止を決議しています

贈らない 求めない 受け取らない

虚礼等廃止の主な事項

- 時候の挨拶状の送付
病気等の見舞いにおける金品等の贈与
中元・歳暮等の贈答
新聞、雑誌、名簿、掲示板等への広告
慶事・弔事についての廃止事項 祝儀・香典・供花の贈与、祝電・弔電等の発送 各種行事・各種団体に対する寄付・カンパ、祝儀、祝電、金品等の贈与等
本人または配偶者が出席する場合は、会費相当額を限度とする